



映画

はなちゃんのみそ汁

平成26年12月5日

住友生命保険相互会社

映画「はなちゃんのみそ汁」製作発表記者会見について

～がんで逝った33歳の母が、5歳の娘に遺したもの。 あなたは我が子に何を遺せますか？～

当社が「Special Supporter（スペシャルサポーター）」として製作支援を行う映画「はなちゃんのみそ汁」（来年秋公開予定）の製作発表記者会見が12月4日に東京都内で行われました。

この作品は乳がんを患った母親千恵さんが、自分がいなくなったあと困らないようにと、愛情をこめて娘のはなちゃんに料理や家事の大切さを伝えた物語です。

会見には、主人公千恵さん役を演じる広末涼子さん、夫役の滝藤賢一さん、主題歌および千恵さんの姉役の一青窈さん、監督の阿久根知昭さん、原作者の安武信吾さんと安武はなちゃんが登場しました。



阿久根監督は、この作品について「闘病記ではなく、夫婦の物語、家族の物語です。特別になにかというより、誰でもする想いが満ち溢れていて、ほんの小さなことでも喜べる毎日があって、そして一緒に食事をしたり、泣いたり、笑ったりする。ある日誰かが亡くなってもすべてが消えうせるわけではなく、地下に眠るエネルギーの存在を信じられるようなそんな作品にしたい。」との想いを語りました。

主人公を演じる広末涼子さんは、脚本を読んで「悲しい、辛いというのではなく、笑いながら泣いてしまいました。命をかけて演じたいと思えるものでした。」「千恵さんの食事を大事にしているところ、笑いを大事にしているところ、娘を大事にしているところに共感し、大好きになりました。」と語ってくれました。

会見では、はなちゃんがつくったみそ汁が振る舞われ、広末さんは「ほっとする味でとてもおいしい」と母親のような笑顔をはなちゃんにむけていました。

はなちゃん役には1000通を超えるご応募をいただき、現在最終選考中です。たくさんのご応募ありがとうございました。

以上